



2019年4月17日  
株式会社ファンペップ

### 抗体誘導ペプチド FPP003 の第 I/II a 相臨床試験開始のお知らせ

当社（本社：大阪府茨木市、代表取締役社長：平井 昭光）は、抗体誘導ペプチド FPP003 のオーストラリアでの第 I/II a 相臨床試験の準備を進めておりましたが、この度、最初の被験者へ治験薬が投与され、試験が開始されましたのでお知らせいたします。

当社は、大阪大学大学院医学系研究科等との共同研究により、抗体誘導ペプチドの研究開発を進めております。抗体誘導ペプチドは、標的分子の働きを阻害する抗体を体内で産生させるようにデザインされたペプチド医薬であり、数ヶ月に一回の投与で抗体を維持し、持続的な薬効を期待できることが特徴です。また、バイオ製造設備への多額の投資が必要な抗体医薬に比べて、安価な代替技術となることを期待しています。

FPP003 は、尋常性乾癬を対象疾患とする抗体誘導ペプチドであり、当社は、投与間隔が長く利便性の高い長期作用型医薬品として、尋常性乾癬患者に対する将来の治療選択肢になることを目指して開発を進めています。

なお、この第 I/II a 相臨床試験は、FPP003 の FIH 試験（First in Human 試験、ヒトに対して初めて投与する試験）であり、主要評価項目を安全性としておりますが、尋常性乾癬患者様を対象にしておりますので、有効性についても探索的に評価する予定です。



< 参考情報 >

### **抗体誘導ペプチド**

抗体誘導ペプチドは、感染症予防ワクチン等の従来のワクチンと異なり、獲得免疫システムのうち、細胞性免疫（細胞傷害性 T 細胞）を活性化させずに、抗体産生に関連する液性免疫（B 細胞）を選択的に活性化させることが特徴です。これにより、細胞性免疫を活性化することによる副作用（自己免疫反応）を回避し、自己タンパク質を標的分子とする慢性疾患治療薬として実用化することを目指しています。

当社では、抗体産生を選択的に誘導することから、このペプチドを「抗体誘導ペプチド」と呼んでいます。

### **尋常性乾癬**

尋常性乾癬は乾癬の一種であり、皮膚の慢性炎症性疾患です。尋常性乾癬の症状は、表皮細胞が異常に増殖し、境界明瞭な紅斑（皮膚が発赤する状態）が現れ、その表面に鱗屑（りんせつ、銀白色のうろこ状のかさぶた）が厚く付着してボロボロと剥がれ落ちるというものであり、患者様の生活の質（Quality of Life）の低下が問題となります。

尋常性乾癬の治療は、「軽症から中等症」患者に対しては外用剤が使用され、「中等症から重症」患者に対しては光線療法や全身療法が行われておりますが、これらの治療法で効果が不十分な場合には、抗体医薬が使用されております。

< お問い合わせ先 >

株式会社ファンペップ 管理部

東京オフィス：東京都渋谷区千駄ヶ谷 5-8-4 第7 瑞穂ビル 3 階

Tel : 03-5315-4200 Fax : 03-5315-4203

E-mail : info-fpp@funpep.co.jp

以上